



## 2022年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年10月13日

上場会社名 株式会社歌舞伎座 上場取引所 東  
 コード番号 9661 URL <https://www.kabuki-za.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安孫子 正  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡谷 直人 (TEL) 03-3541-5572  
 四半期報告書提出予定日 2021年10月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年2月期第2四半期の連結業績(2021年3月1日~2021年8月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	1,207	34.0	△53	—	△43	—	△89	—
2021年2月期第2四半期	901	△52.6	△279	—	△235	—	△208	—

(注) 包括利益 2022年2月期第2四半期 △1,468百万円(—%) 2021年2月期第2四半期 664百万円(55.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	△7.38	—
2021年2月期第2四半期	△17.25	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第2四半期	25,248	11,108	44.0
2021年2月期	27,366	12,553	45.9

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 11,108百万円 2021年2月期 12,553百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2022年2月期	—	0.00	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	2,472	17.4	△145	—	△135	—	△200	△16.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 、 除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2022年2月期2Q	12,170,000株	2021年2月期	12,170,000株
2022年2月期2Q	50,087株	2021年2月期	67,187株
2022年2月期2Q	12,117,470株	2021年2月期2Q	12,102,852株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の背景、前提条件等につきましては、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により引き続き厳しい状況が続きました。劇場歌舞伎座においては客席数を半分に制限し、客席やロビーでの飲食禁止等の徹底した感染症防止対策を講じながらの興業が続きました。連結子会社の食堂・飲食事業及び売店事業もかかる制約の下での営業活動となりましたが、売上高はいずれも前年同四半期を上回る結果となりました。

このような情勢のもと、当社グループにおきましては、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,207,834千円(前年同四半期比34.0%増)、営業損失は53,243千円(前年同四半期は営業損失279,046千円)、経常損失は43,375千円(前年同四半期は経常損失235,661千円)となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は89,484千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失208,743千円)となりました。

これをセグメント別に見ると、不動産賃貸事業については、感染症防止対策により制約を受ける一部の施設や店舗への賃料減額等を行った一方、新たな設備投資や機器更新を一部先送りする等により、売上高は944,599千円(前年同四半期比17.0%増)となり、セグメント利益は338,422千円(前年同四半期比102.9%増)となりました。

食堂・飲食事業については、密集緩和の観点から飲食施設の席数を約半数にしての営業が続き、ドリンクコーナーでも飲料水、お茶、飴のみの販売となったことから、売上高は70,282千円(前年同四半期比215.9%増)、セグメント損失は75,997千円(前年同四半期はセグメント損失99,987千円)となりました。

売店事業については、地下の木挽町広場で「ねこ展」他の催事を実施しましたが、外出自粛等が大きく影響し集客等において厳しい状況が続きました。売上高は192,952千円(前年同四半期比169.8%増)、セグメント損失は57,475千円(前年同四半期はセグメント損失97,550千円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,117,876千円減少し、25,248,307千円となりました。

##### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ105,600千円増加し、1,526,399千円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2,223,476千円減少し、23,721,908千円となりました。主な要因は、投資有価証券の時価評価による減少1,989,204千円、及び有形固定資産の減価償却等による減少227,390千円であります。

##### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ57,334千円増加し、730,977千円となりました。主な要因は、未払法人税等の増加、前受金の増加であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ730,446千円減少し、13,408,833千円となりました。主な要因は、流動負債に振替えたことによる長期前受金の減少、有価証券の時価評価による繰延税金負債の減少であります。

##### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,444,764千円減少し、11,108,496千円となりました。主な要因は、利益剰余金の減少、その他有価証券評価差額金の減少であります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.9%減少し44.0%となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ159,831千円増加し、1,429,827千円となりました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果から増加した資金は138,170千円となり、前連結会計年度(前年同四半期は331,555千円の支出)との比較では469,725千円の増加となりました。資金の増加要因は、税金等調整前四半期純損失の減少、仕入債務の増加、未払消費税等の増加、(還付消費税等の入金による)未収消費税等の減少であり、資金の減少要因は、減価償却費の減少、有形固定資産除却損の減少であります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の支出は、3,084千円(前年同四半期は49,110千円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の収入は、24,745千円(前年同四半期は59,692千円の支出)となりました。これは主に自己株式の処分による収入、配当金の支払額によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結及び個別の通期業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算定いたしました。詳細は本日公表いたしました「2022年2月期 第2四半期累計期間(連結・個別)の業績予想と実績との差異及び通期(連結・個別)の業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

通期の連結業績予想につきましては、売上高は、不動産賃貸事業1,891百万円、食堂・飲食事業148百万円、売店事業433百万円の合計2,472百万円(前期比17.4%増)、営業損失は145百万円(前期は営業損失378百万円)、経常損失は135百万円(前期は経常損失322百万円)、親会社株主に帰属する当期純損失は200百万円(前期は親会社株主に帰属する当期純損失347百万円)となる見込みであります。

なお、通期の個別業績予想につきましては次のとおりであります。

2022年2月期の個別業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益 円 銭
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	1,928	7.5	217	74.4	146	167.0	12.05

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,269,995	1,429,827
受取手形及び売掛金	14,357	15,382
たな卸資産	35,356	38,573
その他	101,192	42,724
貸倒引当金	△103	△108
流動資産合計	1,420,799	1,526,399
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,578,076	8,366,835
土地	6,238,098	6,238,098
その他(純額)	123,374	109,835
有形固定資産合計	14,939,549	14,714,769
無形固定資産		
借地権	2,613,299	2,613,299
商標権	16	4
施設利用権	7,548	7,003
ソフトウェア	7,136	6,062
無形固定資産合計	2,628,000	2,626,369
投資その他の資産		
投資有価証券	7,862,696	5,873,491
長期前払費用	427,750	419,889
その他	87,388	87,388
投資その他の資産合計	8,377,834	6,380,769
固定資産合計	25,945,384	23,721,908
資産合計	27,366,184	25,248,307

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	43,216	49,333
未払金	164,580	159,606
未払法人税等	8,654	38,931
前受金	399,529	416,294
賞与引当金	22,159	19,838
その他	35,502	46,973
流動負債合計	673,642	730,977
固定負債		
長期末払金	98,490	98,490
長期前受金	12,028,780	11,882,375
繰延税金負債	1,850,026	1,261,946
退職給付に係る負債	76,419	80,173
長期預り保証金	85,563	85,848
固定負債合計	14,139,280	13,408,833
負債合計	14,812,923	14,139,811
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,365,180	2,365,180
資本剰余金	3,256,671	3,264,975
利益剰余金	3,900,747	3,750,749
自己株式	△298,059	△222,111
株主資本合計	9,224,538	9,158,792
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,328,721	1,949,703
その他の包括利益累計額合計	3,328,721	1,949,703
純資産合計	12,553,260	11,108,496
負債純資産合計	27,366,184	25,248,307

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年8月31日)
売上高	901,458	1,207,834
売上原価	903,412	984,946
売上総利益又は売上総損失(△)	△1,954	222,888
販売費及び一般管理費		
人件費	170,740	169,433
賞与引当金繰入額	12,785	10,389
退職給付費用	4,444	2,571
租税公課	13,578	16,390
減価償却費	2,376	2,360
その他	73,167	74,986
販売費及び一般管理費合計	277,092	276,131
営業損失(△)	△279,046	△53,243
営業外収益		
受取利息	21	6
受取配当金	16,690	2,316
助成金収入	20,882	4,659
その他	6,322	4,188
営業外収益合計	43,916	11,170
営業外費用		
有形固定資産除却損	-	873
その他	531	429
営業外費用合計	531	1,302
経常損失(△)	△235,661	△43,375
特別損失		
有形固定資産除却損	34,535	-
特別損失合計	34,535	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△270,196	△43,375
法人税、住民税及び事業税	1,228	23,950
法人税等調整額	△62,682	22,157
法人税等合計	△61,453	46,108
四半期純損失(△)	△208,743	△89,484
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△208,743	△89,484



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年8月31日)
四半期純損失(△)	△208,743	△89,484
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	873,233	△1,379,018
その他の包括利益合計	873,233	△1,379,018
四半期包括利益	664,490	△1,468,502
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	664,490	△1,468,502

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△270,196	△43,375
減価償却費	247,011	228,448
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△115	5
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,755	△2,321
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△54	3,753
受取利息及び受取配当金	△16,711	△2,322
有形固定資産除却損	34,535	873
売上債権の増減額(△は増加)	12,137	△1,024
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,001	△3,217
仕入債務の増減額(△は減少)	△114,803	6,116
助成金収入	△20,882	△4,659
長期未払金の増減額(△は減少)	△17,280	-
長期前受金の増減額(△は減少)	△146,404	△146,404
長期預り保証金の増減額(△は減少)	△390	285
未収消費税等の増減額(△は増加)	△21,801	34,315
未払消費税等の増減額(△は減少)	△32,057	12,764
その他	2,410	29,049
小計	△344,848	112,287
利息及び配当金の受取額	16,711	2,322
法人税等の支払額	△29,739	△2,265
法人税等の還付額	7,010	20,769
助成金の受取額	19,311	5,056
営業活動によるキャッシュ・フロー	△331,555	138,170
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△41,949	△2,784
有形固定資産の除却による支出	△7,160	△300
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,110	△3,084
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の処分による収入	-	84,251
自己株式の取得による支出	△250	-
配当金の支払額	△59,443	△59,389
その他	1	△116
財務活動によるキャッシュ・フロー	△59,692	24,745
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△440,357	159,831
現金及び現金同等物の期首残高	1,753,341	1,269,995
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,312,983	1,429,827

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため東京都に発出された度重なる緊急事態宣言により、当第2四半期連結累計期間も食堂・飲食事業、売店事業において厳しい状況が続きました。9月末に緊急事態宣言は解除されたものの、座席数の制限や営業時間の短縮等は続いており、当社グループの業績に影響を与えております。

前連結会計年度末においては、2022年2月期末までに徐々に経済活動が回復すると仮定しておりましたが、その後の新型コロナウイルス感染症の感染状況及び経済環境への影響を踏まえ、当該感染症による売上高減少等の影響は2022年2月期を通じて一定程度残るものと仮定を変更して、繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損に関する会計上の見積りを行っております。

なお、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	不動産 賃貸事業	食堂・飲食 事業	売店事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	807,693	22,245	71,519	901,458	-	901,458
セグメント間の内部売上高 又は振替高	43,140	166	350	43,657	△43,657	-
計	850,833	22,412	71,870	945,115	△43,657	901,458
セグメント利益又は損失(△)	166,831	△99,987	△97,550	△30,706	△248,339	△279,046

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△248,339千円は、セグメント間取引消去△9,241千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△239,098千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2021年3月1日至2021年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	不動産 賃貸事業	食堂・飲食 事業	売店事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	944,599	70,282	192,952	1,207,834	-	1,207,834
セグメント間の内部売上高 又は振替高	46,490	104	2,474	49,069	△49,069	-
計	991,089	70,387	195,427	1,256,903	△49,069	1,207,834
セグメント利益又は損失(△)	338,422	△75,997	△57,475	204,949	△258,193	△53,243

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△258,193千円は、セグメント間取引消去△11,018千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△247,174千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。